

自己改革 進捗状況 報告

J A尾張中央は、政府主導による『農協改革』に対し、
地域と農業とくらしを支える存在として、

組合員、利用者が必要とされる組織であり続けるため

役員が一丸となって『自己改革』に取り組んでいます。

今月の特集は、平成29年度自己改革についての取組項目・

具体策・行動結果などをご報告いたします。





徹底した話し合い(組織対応)

1. 農家の所得向上にかかる話し合い

どのようにして

農家の所得向上にかかる話し合いの場を設け、意見・要望等を事業運営に反映

行動結果

- ・総代研修会、支部・実行組合総会、青年部会で自己改革の取組みの進捗状況の報告と意見・要望等の聴取を実施
- ・長谷川組合長が女性大学で自己改革について講演

組合員とJA役員との徹底した議論

地元農産物の消費を通じて、農業を応援する准組合員を増やす

地域農業の応援団レベル1への取組み

どのようにして

准組合員加入時に地域情報誌「つながり」を使って「食と農」へのJAの関わりや理解促進をPRする

行動結果

- ・准組合員・地域利用者に手渡しによりJAの事業を説明
- ・全准組合員に対し、事業案内ガイドブック(地域農業応援クーポン付)を送付

地域農業の応援団レベル2への取組み

どのようにして

地元農産物の地産地消を推奨するための親子料理教室などの開催

行動結果

- ・地元野菜を使用した料理教室開催

どのようにして

- ①小学生等を対象とした農業体験による食農教育活動の実施
- ②FMぐうびいひろばを中心とした親子農業体験の実施
- ③支店ふれあい委員会との連携による食農教育活動の展開

行動結果

- ・小学校での食農教育活動や親子農業体験の実施

どのようにして

産直施設統一セールや農業祭への参加誘導

行動結果

- ・FM・GCでは産直部会員とイベントを実施し集客を図り、農業祭では来場者ポイント付与を行った



地域農業の応援団レベル5への取組み

どのようにして

正組合員への資格変更

- ①青年部会
- ②産直出荷会員

行動結果

- ・青年部会員及び産直出荷会員で正組合員以外の会員をリストアップし、正組合員加入推進を実施

地域農業の応援団レベル3への取組み

どのようにして

総合ポイント奨励制度により、ポイント交換や値引きが可能であることをPRして産直施設利用を勧める

行動結果

- ・年2回ポイント交換会の実施によるポイント還元率の向上と産直施設への誘導。
- ・窓口、LA等により複数事業利用(購買・信用)ボーナスポイントの周知。

どのようにして

JAカード利用による産直施設での買い物代金割引の実施

行動結果

- ・FMぐうびいひろば及びGCでのJAカード推進活動
- ・支店でのサマーキャンペーン/ウィンターキャンペーン(貯金獲得推進)金利奨励によるJAカード推進活動

准組合員の農業応援団化の取組み

地域農業の応援団レベル4への取組み

どのようにして

桃栽培サポータークラブによる援農

行動結果

- ・桃栽培サポーター養成講座開催
- ・サポータークラブ員による援農

※地域農業の応援団レベル

- レベル1…地元農業を応援する意思がある
- レベル2…JAの農業応援商品を利用、または農業応援イベント等に参加している
- レベル3…産直を通じて、地元農産物を定期的に購入している
- レベル4…援農ボランティア等、農業・農家のためになる活動に参加・参加している
- レベル5…農作業の従事日数を満たせば、正組合員への資格変更を誘導

1 管内農業の姿を描く

1. 管内農業者への「ヒアリング」の実施

どのようにして

- ①対象世帯宅を訪問し、担い手に対して面談
- ②「中核的担い手」か「多様な担い手」かを確定し、「中核的担い手」に対しては、人・農地プランへの登録

行動結果

- ・認定農業者、生産者部会員、産直出荷者計355人に訪問ヒアリングを実施
- ・行政と農業委員・認定農業者・農振地区支部長を対象として農業振興にかかる意見交換会を実施
- ・認定農業者を含む組合員1,500人を対象とした「自己改革に関する組合員アンケート」時にヒアリングを実施



2. 地域農業ビジョンの策定

どのようにして

- ①ビジョン策定プロジェクトを立ち上げ
- ②組合員説明会等で徹底した議論を経てビジョン(案)を策定

行動結果

- ・農業ビジョン策定プロジェクトの設置により、管内農業の現状と課題、解決方法を検討

2 JAが農家をサポート

1. 定年帰農者・新規就農者を育成し、定着させる

どのようにして

- ①営農計画作成支援 ②野菜栽培講習会

行動結果

- ・新規認定農業者への経営計画作成支援
- ・FMぐうびいひろば・GC産直出荷者研修会開催による新規産直部会員の勧誘

2. 中核的担い手へ手厚く対応

どのようにして

- ①中核的担い手へJAバンクあいち親元就農応援事業等を活用
- ②行政支援が手薄な農業費用の助成

行動結果

- ・次世代人材育成投資資金、新規就農営農支援事業、親元就農支援事業、JAバンク農機具購入応援事業を活用した助成

どのようにして

- ①営農渉外員がほ場を巡回し、情報収集と所得向上のための経営相談の実施
- ②農産物の端境期対策の実施

行動結果

- ・営農渉外員による産直、生産者部会員対象農家訪問
- ・ビニールパイプハウスを活用した端境期対策の提案

どのようにして

農業リスク診断活動の実施

行動結果

- ・営農渉外員とLAによる農家のリスク診断を実施

3. 多様な担い手を育成し、産直を活性化させる

どのようにして

営農指導課による栽培指導の実施

行動結果

- ・産直、生産者部会等への多様な研修会の実施により産直販売高が増加

3 農業収入増加(販売強化)

1. 管内農産物の販売力強化

どのようにして

産直出荷者へ計画作成付品目の奨励

行動結果

- ・営農渉外員による産直出荷者へ、計画作成付品目の栽培暦、出荷規格を配布し作付依頼

どのようにして

食育ソムリエによる試食会

行動結果

- ・FMぐうびいひろばで食育ソムリエによる旬の食材を使った試食やスイーツ専門学校生による野菜スイーツ販売
- ・農業祭等で生産者部会による農産物の販売

どのようにして

自己改革にかかる職員研修の実施

行動結果

- ・上期、下期のコンプライアンス研修会にて階層別に研修を実施

2. 地域農業を支えるインフラへの投資

どのようにして

施設投資計画の策定

行動結果

- ・県下統一産直システム導入

5 JAの人材・施設

1. 地域農業の発展に寄与できる職員の育成

どのようにして

営農相談員、営農専門員の育成

行動結果

- ・営農相談員、営農専門員、リテールマーケティング資格、農業融資資格の研修・受験

4 生産コスト低減

1. 生産資材価格の低廉化

どのようにして

予約注文書及び曆において稲作における低コスト資材の提案を行い、生産コストの低減

行動結果

- ・商系7社による入札で価格決定